

### 次号予告

#### 特集 企業のリストラクチャリング

リストラクチャリングの役割と課題  
……………寺本 義也 (筑波大学)

リストラクチャリングの日米比較  
……………内藤 洋介 (産能大学)

新日本製鉄におけるリストラクチャリング  
戦略の展開……………間仁田幸雄 (新日本製鉄)

日本水産の近未来構想と新事業の展開  
……………小川 隆義 (日本水産)

三井石油化学の経営戦略と人材開発  
……………横田 佳郎 (三井石油化学)

東レの組織活性化策の考え方と実際  
……………飯島 英胤 (東レ)

NTTの新規事業開発とグループ経営の構築  
……………嘉陽 安俊 (NTT)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	上野 哲郎	関東学園大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

**編集後記** ●昨今の人間の諸活動の自動化の進展には目を見張るものがある。これは人間の最適化への飽くなき追及の賜であろう。本号はこれに関して生産問題の一部をとりあげた●大河内一男元東大総長は、著書『余暇のすすめ』において18世紀のイギリス人のゴドウィンが、各人1日わずか半時間労働するだけで生活に必要なものを生産するのに充分であるという社会を論じている、と紹介している。経済を必需品経済と非必需品経済に分離するとすれば、少品種大量生産に向く必需品についてはこの説が可能に近づいてきた。単に物を造る部分だけでなく、需給の把握や流通をシステムに組み込めば、無駄がなく安価に物品を供給するシステムが構築される。まさに松下幸之助が唱えていた「物を水道の水のように安く豊富に供給したい」という理想に近づくことでもある。主題が少し異なるが、いま米国では3%の農業人口で自国の全人口の食料を供給しているばかりか最大食料輸出国でもある。生活必需品の生産自動化においてももうす

ぐ全世界の数%の人数でその供給ができるであろう。必需品だけでも安く全世界で供給しさえすれば、世界の貧困はなくなるであろう、と夢がふくらむ●一方、サイバネティクスの創始者ノバート・ウィーナーは、人間に肉体的にも頭脳的にも繰り返しの反復作業をさせることは人間の尊厳に反すると主張し、「人間のものは人間に、機械のものは機械に」と提唱した。自動化はこの30年間に、制御理論に加えて、半導体(頭脳)、センサー(五感)、ネットワーク(神経)の飛躍的な進歩により急速に具体化した。彼の提唱は実現しつつある●本号の各論はこれら自動化の現状と方向を具体的に描いている点でそれぞれ興味深い。しかし従来のOR的な理論や手法を直接的に駆使する局面のない点は指摘されるであろう●本誌は今後読者との対話を考え、新コラム「ORメモランダム」を設けます。ご投稿をお待ちします。

(川合庸一)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成元年12月号 第34巻 第12号 通巻348号

代表者 森村 英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円、郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(548-1337)、日経弘報社(563-2241)へ